

## 「えさ場」をなくしましょう

問 農林振興課 林務水産係  
☎476-1111(512)

### ◆被害防止には、秋から冬の「えさ場」をなくして野生鳥獣を寄せ付けない！

#### (1) 畦畔<sup>けいはん</sup>や法面<sup>のりめん</sup>の雑草の管理

草刈りは9月頃までに終わらせる。

「カヤ」や「ススキ」といった雑草は繁殖力が強く、冬場に枯れて地面を覆い、鳥獣のえさとなる冬草や春草の芽吹きを防いでくれます。

10月以降の草刈りで、カヤやススキを刈り取ってしまうと、そこは青草が生い茂り鳥獣のえさ場となってしまいます。



チガヤ



カラムシ (えさになる草の1種)

#### (2) 収穫後の水田・畑の管理

収穫残さを放置しない。

水田では、稲刈り後の株から伸びる稲穂<sup>ひこばえ</sup>などの発生前<sup>こうらん</sup>に耕耘し、畑では収穫残さ<sup>ざん</sup>(さつまいも・大根等)を早めに処分しましょう。

収穫後も電気柵は撤去せず、電気を流し農地への侵入を防止しましょう。

収穫後も収穫残さを食べに鳥獣がやってきます。

収穫後は電気柵を撤去してしまう方も多くいますが、鳥獣が一度「えさ場」と認識してしまうと、翌年からも同じ場所で被害が拡大してしまいます。

特にイノシシは、えさを食べることでできた田畑の場所を忘れません。野生鳥獣に、ここはえさ場ではないとのメッセージを送ることが重要です。一年中電気柵を活用しましょう。



稲刈り後のひこばえ

## イプシロン5号機が10月に打ち上げられます！

問 JAXA内之浦宇宙空間観測所  
☎050-3362-3111(代)

JAXAは、下記の日時に内之浦宇宙空間観測所からイプシロンロケット5号機を打ち上げます。

2019年1月に4号機を打ち上げて以来、約3年弱ぶりの打上げとなる今回の5号機では、JAXAと企業が連携して開発する「小型実証衛星2号機(RAISE-2)」と超小型衛星4機・キューブサット4機の計9機の衛星で構成される「革新的衛星技術実証2号機」を打ち上げます。

前回の4号機では「革新的衛星技術実証1号機」として計7機の衛星を打ち上げました。そして今回はさらに多い9機を打ち上げられるように、イプシロンロケットは更なる進化を遂げ、多くの関係者の方々の思いを背負って打ち上げられることとなります。

伝統を受け継ぎ、革新を続けるイプシロンロケットの打上げを是非ご覧ください。

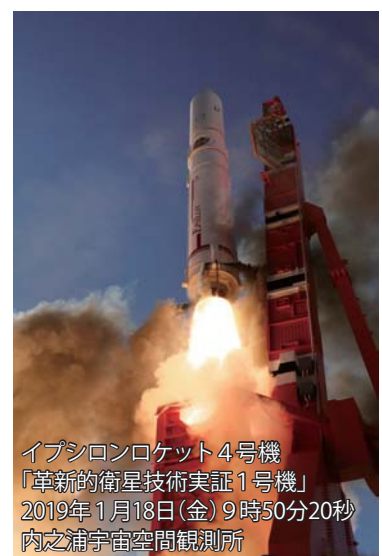
**打 上 げ 日：2021年10月1日(金)**

**打 上 げ 時 間：午前9時48分頃～午前9時59分頃**

**打上げ予備期間：2021年10月2日(土)～2021年11月30日(火)**

注1：天候等により打上げ日に変更になる可能性もあります。最新の情報についてはJAXA HP (<https://www.jaxa.jp>) をご覧ください。

注2：打上げ当日は見学者来訪等により周辺道路が通常より混雑する恐れがありますのでご注意ください。



イプシロンロケット4号機  
「革新的衛星技術実証1号機」  
2019年1月18日(金)9時50分20秒  
内之浦宇宙空間観測所